

アンケート B. Q1 の記述式回答

B. 地域活性化等の社会経済活動とサンゴとの関わり方について

Q1. サンゴが地域の活性化に役立っている事例をご存じでしたら、直接関わっていないものであっても、わかる範囲で教えて下さい。(回答が無かったところについては No.が欠損)

No	回答
1	サンゴがあるから海が豊かになる。
2	竜串海域公園の②③号地のサンゴの衰退で、保護再生活動に取り組んできて10年、今では1970年頃のサンゴの状態に戻って来ています。それにともない、熱帯魚も増えて来ています。沖縄のグラスボートで見た海よりもきれいやったという観光客の声もあります。増えたサンゴの様子をもっと皆さんに知ってもらえば、土佐清水市への観光客も増えるのではないかと思います。
3	サンゴ礁/礁地があることで、自分たちの海が特別なものであるという意識が向上し、地域を上げての適正な観光開発の促進。(豪州・ケアンズ・タウンズビル)
6	シーカヤックでサンゴを見に行くツアーができる。
7	ダイバーのサンゴへの関心も高く、多くのダイバーや海への興味のある観光客に集客につながっている。
8	海中展望船の運航は地域の貴重な観光資源となっている。
9	サンゴ礁(リーフ)があることで、波浪から背後地を守っている。(地域防災効果)「サンゴが生息し続けることで、海水準が上昇してもサンゴが成長し防護機能は衰えない。」サンゴが生息することで生態系が維持され、そこで育まれる水産生物を安定的に享受できる。(経済効果)
10	サンゴ礁は、地域の文化や精神の基層をなす重要な要素であり、現在の地域コミュニティの暮らしや祭事・神事を形成する上で無くてはならないものであった。サンゴ礁保全が地域産品の付加価値を高める仕組み・構造の創出を目指しています。
12	サンゴ群を活用してのスキューバダイビングやシュノーケルを対象とした観光客の増大。またサンゴ群を觀賞できる観光船を活用しての観光客の増大併せて海のイメージアップ。
13	サンゴ群生景観を保全することによる、アウトドアキャンパーの利用増。地域イメージの向上。
15	私たちの住んでいる都市近郊の海にもサンゴが生息している事を、一般市民に広く知ってもらうための、写真企画展の開催を計画している。また、関東周辺のダイバーに対し、自分のホームグラウンドのサンゴを知り、見守る活動を呼びかける。
16	美しい珊瑚の海を散策するスキューバダイビングスクールが盛んであり、また珊瑚のお土産にも貢献されている。
17	市の観光資源としての利用。
18	沖縄観光(離島を含む)では、サンゴ礁海域でのダイビング等が観光の目的の一つになっており、入域観光客数増加の一躍を担っていると思われます。
20	サンゴ礁が健全だと海の幸に依存している島民は日常生活が豊かになる。ダイビングやシュノーケリングによる観光客も増加する。
22	サンゴ礁は、地域の文化や精神の基層をなす重要な要素であり、現在の地域コミュニティの暮らしや祭事・神事を形成する上で無くてはならないものであった。サンゴ礁保全が地域産品の付加価値を高める仕組み・構造の創出を目指しています。
23	聞いたことがありません。
24	与論島では、1998年の白化現象で大部分のサンゴが死滅し、その結果魚介類も少なくなったという印象が島民の間に浸透しています。地元ではサンゴ礁が、もっとも重要な観光資源であるという認識があり、自然発生的にサンゴ礁再生のための「ウルプロジェクト」が立ち上げられています。
27	サンゴ礁は多様な環境を作り出しており、生物多様性に貢献している。サンゴ礁と褐虫藻は共生関係にあり、褐虫藻の光合成により海洋中CO ₂ を固定する。ダイビングスポット。

28	愛南町は海中公園地区でもあり、グラスボート(町営)・スキューバーダイビング・スノーケリング客の集客に大変役立っている。
29	水温の影響か、サンゴの生息範囲が北上し、宇和島市でもサンゴ群落を確認できるようになり、まず、知ってもらうことが重要と考え、調査した。その後、宇和島市にシーカヤッククラブができ、田之浜地区でシーカヤックによるサンゴ見学や、ダイビングの来訪者が増えた。
30	東京湾に面する千葉県館山の海にあるサンゴ礁(本州最北端のサンゴ群生地)は、ダイビングスポットにもなり、身近なサンゴ礁として親しまれている。
31	本県南部(愛南町)ではサンゴが観光資源として活用されておりますが、詳しいことは存じておりません。
32	ダイビング業を営むため若者がUターン。観光のメニューの中にダイビングが加わった。
36	ツーリズムへの影響は大きいと思います。
37	観光産業を進める上で有効である。生物多様性の観点から地元のイメージアップになる。持続的な漁業を進める上で重要。
38	CIは世界各地でサンゴ礁を含む海洋保全に経済・社会・政策アプローチを組み合わせた取り組みを進めています。概要は下記をご覧ください。 http://www.conservation.org/sites/marine/initiatives/seascapes/Pages/seascapes.aspx
40	マリンカルチャーセンター(海洋レジャー観光の中核的施設)でサンゴ礁遊覧船を運航。NPO 法人かまえブルーツーリズム研究会において、サンゴ見学等の体験プログラムを実施。
41	サンゴ礁があるとダイビング客が増えることや魚が増えることで水産業の振興が図れる。
42	町内にはダイビング業者等が存在しない。
44	本村は沖縄県が代表する観光立村です。サンゴ礁があることで、漁業者の漁獲量の維持やダイビングなどが盛んになり、観光客が増える。本村のリゾートホテル等に宿泊し、リピーターを期待しています。
49	サンゴを目当てにしている観光客やリピーターがいる。
50	海水浴やシュノーケル、ダイビングやグラスボート等で観光資源として活用されている。サンゴ礁は水産資源を育む環境としても重要な役割を果たしている。
53	関わる活動はありません。また情報もありません。
54	一部の地域でのダイビングのよびものとなっている。(キサンゴ等)
55	サンゴや貝等でお土産品を作り販売し盛況である。
57	観光面においては、ダイビングなど目的に観光客が訪れている。 水産業では、水産資源の保護・培養に重要な役割を果たしている。
59	サンゴ群集でのダイビング増加。サンゴ群集を活用したスノーケリングツアー。
61	サンゴ礁があることでダイビングなどが盛んになり観光客が増える。サンゴのある海のイメージアップで地域の活性化につながる。
63	H23年の沖縄の成人式において新成人500名がサンゴ再生のために募金を募り、サンゴ再生資金を寄付。(環境に対する意識向上)
64	サンゴ礁があることで、資源の維持ができていると思われる。
65	小笠原のサンゴ礁は豊かな自然環境を育み、観光客を呼び寄せる目玉となっている。
66	サンゴは沖縄の大きな観光資源ですが、サンゴが地域の活性化に役立っている具体例は知りません。
67	サンゴ礁があることでダイビングなどが盛んになり観光客が増える。サンゴのある海のイメージアップで地域の活性化。サンゴを取り巻く生物の保全。漁獲高の維持。
68	サンゴ礁があることで、ダイビングなどが盛んになり、観光客が増える。サンゴがある海のイメージアップで地域を活性化。
69	三重県では、サンゴはほとんど見られませんが、県南部のサンゴ礁では、ダイバーが観察に訪れていると聞いています。
70	ダイビングなど観光産業への貢献。

71	サンゴが生育する天草市牛深の築の島、法が島近辺は、雲仙天草国立公園の海中公園(海域公園)に指定され、多くのダイバーが訪れている。また、一般の観光客でも海中散歩が楽しめるようにグラスボートのルートに設定されている。
72	ダイビング客の集客、サンゴ移植活動などによる集客、啓発。魚介類が豊富になることによる漁業の活性化。
73	ダイビングの際はサンゴ周辺での活動が行われる。
74	ダイビングやシュノーケリング、海洋レジャーやエコツアーが盛んになり、漁業以外での新たな産業が生まれ地域が活性化する。サンゴを教材とした環境学習を進めることができる。またサンゴは様々な生物の餌場、隠れ家、保育場となり、漁業も含め生物多様性を維持する上で極めて重要である。
75	当市沿岸のサンゴ礁の価値が見直されればダイビング等の観光に力を入れていきたい。
80	サンゴ礁水槽を作り、生態・環境について理解していただいている。(この場合地域とは水族館がある周りの地域と、来館者を意味する)地元では、ダイビング産業が盛んになっているが、当社の関わりではなく他団体の成果が大きい。
81	延岡市、日南市南郷町を中心に、ダイビングや水中観光船等によるサンゴ群集の利用が図られている。
83	ダイビング等の観光業に貢献。生物の貴重な生息場所(漁業に貢献)。海岸砂浜の形成と防波機能。
85	健全なサンゴ礁を維持しているので、ダイビングを目的とした観光客が増加した。
86	健全なサンゴ礁を維持しているので、ダイビングを目的とした観光客が増加した。
87	三重県在住の知人はサンゴ礁がある和歌山までダイビングをしに行っています。
88	オニヒトデやレイシガイの駆除により、サンゴ礁が良好に保たれており、評判が良くダイバーのリピーターが増えつつある。
89	沖縄や小笠原など多くのサンゴ礁海域ではサンゴ礁にすむ生物を観光客に見せることにより生計を立てている。またサンゴ礁域で採れる魚類や貝類、海藻類などを販売して生計を立てているところも多い。利用が過剰にならないように気をつけて発展させていけば、いずれも地域活性化につながると思われる。
92	サンゴ礁があることでダイビングなどが盛んになり観光客が増える。サンゴのある海のイメージアップで地域の活性化。
93	ダイビングショップなどマリンサービスに観光客が多く訪れる。
94	ラムサール条約登録水域でのサンゴの知名度は絶対的だが、外来者が訪れてくるには、景気の悪化で殆んど芳しくない。魚はあきらかに増える。
96	ダイビングが盛んである。
97	サンゴ礁にすんでいる魚を漁獲するため、漁業に役立つ。
98	サンゴ礁があることによって、海がきれいに見える。サンゴがある海の町に住みたい人が増えると思う。
102	グラスボートによるサンゴ礁鑑賞。サンゴを用いた装飾品加工。
103	観光資源、環境学習の一環として、シュノーケリング、グラスボート等でサンゴが利用されているが、昭和に最盛期に比べ、観光客が著しく減少している。
104	現地の海洋生態系の保全、観光振興にとどまらず、国内外に美しいサンゴ礁が保全されている姿を発信していくことで人々の自然に対する意識が向上し全体に波及する。
105	串本では、海中公園の民間業者のプログラム、努力がしっかりしている。
106	修学旅行学校で10年以上のリピーター学校が数校ありサンゴ礁の経済効果は大である。
107	大島海峡内はダイビングや半潜水艦での観光が盛んであるが、サンゴ礁が保全・改善されることにより、観光客が増える。
109	ダイビングやシュノーケリングを目的とした訪問者が多い。
110	サンゴの数が多き場所では、ダイビングも盛んに行われており、観光客の増加に一役買っていると思われます。以前の様にサンゴが多くなれば、観光産業の活性化につながると思います。
111	石西礁湖があるためダイビングやシュノーケルが盛ん。バラス島も観光地化している。
112	サンゴ礁があることで、観光資源として活用され、観光客が増える。
113	エコツーリズムの一環として、スノーケリングやダイビングなどが行われている。

114	サンゴ群集があることで、ダイビングなどの観光客がある。
116	枕崎地域では事例はないが、隣接する南さつま市坊津地域では、ダイビングが行われている。
117	観光客を対象にした土産品として、サンゴを使ったアクセサリー等が販売されている。
118	サンゴ保護活動のための養殖槽があり、修学旅行や企業 CSR 研究を受け入れることで、地域の活性化連携等に役立っている。(NPO 法人アクアブラネット・沖縄)
119	山口県周防大島ニホンアワサンゴ群生地「海域公園」指定に向けての取り組みで町おこし。
120	サンゴ礁があることで周辺のグラスボート、ダイビング、海底館等の観光客の維持または増加する。
121	グラスボートでテーブルサンゴを見学するツアーがある。
126	ダイビングを中心とする観光産業のコアとなっている。
128	近辺にはサンゴ礁が殆んど確認されていない。(単発的な生息はあるようです。)
129	サンゴ礁が沖縄にとって主要な観光資源となっている。
132	新石垣空港反対運動によって、サンゴの存在そのものが市民権を得、白保のサンゴ礁も有名になったことにより、訪れる観光客も増え、民宿や遊業船の業者も増えた。
133	当町においても、島の周辺にサンゴ礁があることで、漁業、観光が成り立っている。
135	徳島県年岐町。内港内にツリー状に成長したサンゴがあり、そのツリー(仮称千年サンゴ)を題材とした絵本・童話の制作・サンゴ見学等、市民ダイビングショップが活動している。
137	ハーリー祭、浜下りなどの沖縄の伝統行事はサンゴ礁の自然に根ざしたものである。サンゴ礁は地域伝統行事・文化の基礎となっている。
138	竜串はここ 30 年来、サンゴ群集が観光資源となり莫大な経済効果を得ている事は全域の人たちは認知している。しかし、観光客の減少と、サンゴ群集の衰退とともに過去の恩恵は忘れられているような印象である。
139	サンゴ群集の生育する海域の多くはダイビングやシュノーケリングのスポットとしても人気があります。
140	サンゴ群集の生育する海域の多くはダイビングやシュノーケリングのスポットとしても人気があります。
141	館山市香に分布する沼サンゴ化石は観光名所となっている。また、最北限とされる内房に分布する造礁サンゴがマスコミ等で度々紹介され、地域のイメージアップに貢献している。
142	サンゴ礁があることで、水中観光船が就航し、観光客が増加する。またダイビングが盛んになり、体験型の修学旅行の受け入れが行われている。
143	夫婦浦のスポット(ダイビングが盛ん) マリビュウワーなんごう(海中の様子が見える観光船)
146	小笠原諸島では、ダイビングが盛んに行われており、サンゴは観光資源にもなっている。サンゴも含め、海域の環境を改善・保全することが、漁業活動の安定化、活性化につながる。
147	神奈川県逗子市小坪の沖合いにあるオオタカ根にはキサンゴ類の群落があり、ダイビングスポットとして知られている。
152	宿毛湾海域の沖の島や柏島では、サンゴ群集があることでダイビングが盛んになり、観光客が増えている。
153	サンゴがあることで、ダイビングを目当てに来るハードリピーターの観光客が多い。
154	体験型の修学旅行のメニューにサンゴの移植体験を組み込み、環境学習の一環としても活用している。
157	沖縄県の慶良間諸島においては、ラムサール条約登録地としてさんご礁が認定されており、渡嘉敷村・座間味村両村連携したエコツーリズム協議会を設立準備中。
158	イメージがどうかという問題ではなく、事実として沖縄の島の大半はサンゴ礁で成り立っている。そういう意味ではサンゴなくしては沖縄が成り立たないと言っても決して過言ではない。いつか環境経済学者がきちんと試算してくれることを願うが、サンゴ礁に囲まれていることにより島は自然の防波堤で守られ台風等の被害も受けにくくなっている。また沖縄の砂はサンゴで出来ていることも特筆すべきことである。「青い海、白い砂」という沖縄という誰もがイメージする光景は自然のサンゴ礁により守られている。これらの自然資源を取り人工物と置き換えてしまったら地域の活性化どころか採算すら取れないという事態になるだろう。明白にしておくために記すが、サンゴ礁は地形を指すので当然ながら生きているサンゴだけを対象にしているのではなく死んだサンゴが織り成す地形も含めている。またサンゴを移植して仮にその移植成功率が高かったとしても一朝一夕にはサンゴ「礁」にはならないのでサンゴ移植活動を行っても上に記した事項への対策とはならない。今あるサンゴ礁生態系/地形をそのまま保全するこ

	とが地域の維持に必要であり、長い目で見れば地域活性化にもつながる。
159	造礁サンゴ生息としてメディアなどに取り上げられたり、NPO 法人が資源の保全活動を行ったりしている。また、スノーケリングの人気スポットとしても有名。
161	サンゴ礁があることで、ダイビングなどが盛んになっている。サンゴが存在する串本町は、ラムサール条約に登録。
162	サンゴ礁があることでダイビング客が増え、その地域の観光客が増える。
163	美しい海であることを市外へ PR できる。
164	サンゴ礁を楽しむ観光客の誘致。(ダイビングのみならずスノーケリングや遊覧船など)
165	東京湾に生きるサンゴや生き物を感じることで、身近な海を大切に作る心が育まれる。
167	造礁サンゴ類の分布域から離れているため、近隣で設問のような事例を聞いたことはありません。
168	オニヒトデの駆除に取り組む人がいる。石垣に行ったときにサンゴ湯という飲み物があった。
169	サンゴ群落があるおかげで町内のダイビングへの誘客効果がかなりアップしている。また、海中公園センターの水族館があるため、観光客も多く訪ねてくれている。
175	「チーム美らサンゴ」のサンゴ再生プログラムに参加するため、毎年全国から多くの方が沖縄へやってくる。また、植え付けたサンゴを番号管理し、証明書を発行することで再来を促している。「サンゴを守りたい」という動機付けが人を呼び、地域の活性化につながっていると感じる。
177	対馬には数か所、サンゴ礁があり、ダイビングの利用があります(それほどメジャーではないように思います)。例えば、以下の業者がいます。 http://www9.ocn.ne.jp/~joujou/ http://www2.ocn.ne.jp/~abyss/ また、サンゴ礁の一部は壱岐対馬国定公園の海域公園地区に指定されていますが、特に国定公園としての活用は聞いたことがありません(長崎県に問い合わせてください)。
178	島内にダイビング事業者が約 13 店舗あり、年々マリンレジャーが盛んになっている。 屋久島スキューバダイビング組合 http://yakushima-diving.net/action/environment/index.html 魚類やサンゴの研究フィールドとして広島大学の研究ステーションがあり、学生数名が島に住み込みで研究している。人口 150 名程度の島なので、島に愛着を持った若者や研究者の出入りは地域の活性化にもつながっている(若者の集落行事への参加、卒業した学生の再訪など)。
181	定量的データはありませんが、五島列島においては、近年スクーバダイビング等事業者の数やスクーバダイビングを目的に訪れる観光客がやや増える傾向にあると思われれます。(スクーバダイビング業者からの聞き取りより)
183	サンゴがあることにより、グラスボートの運行やダイビングスポットの利用として観光資源となる。 宝石サンゴが商品として売れる。
191	具体的な調査では把握していないが、サンゴ礁生態系が見られることでダイビングが盛ん。これにより多くの観光客が訪れている印象。
193	サンゴ礁海域は、海洋動植物のすみかとなり、豊かな海洋資源を求めて観光客が訪れる。
194	沖縄地区におけるサンゴ移植による、CSR 活動等。
195	サンゴ礁域での漁業活動、水産生物の生産の場。海洋マリンレジャー活動の場の提供。その他、サンゴ礁海域からの有用資源の供給
196	観光資源(観光客の増加)。豊かな漁場が形成され漁業が盛んになる。
198	我々は風化したサンゴを利用することにより、沖縄の活性化を目指しています。
199	南城市の知念半島は豊かなサンゴ礁と砂地があることで、海の色が年中コバルトブルーなためドライブコースとして人気が高く、県内外から多くの人が訪れる。年々観光客も増加しており地域活性化に役立っている。
201	サンゴ礁があることで、波などによる浸食を防ぐ。サンゴ礁が作り上げる多彩な環境が多種多様な生物の生息場所となり、高い生物生産の場から観光資源まで地域の基本的な活性化に役立つ。
202	サンゴの移植がビジネスになり、ホテルなどでは体験メニューとして取り入れている事業所もある。
204	竹ヶ島では、町と地元小学生、漁協、ダイビングショップ経営者が一緒になって、サンゴの移植が年に一度行われており、地域の活性化に役立っている。
205	関係部署等に問い合わせたがわからないとのことであった。

参考資料 2

206	地域活性化の効果があるとまでは言えないが、サンゴ群集があることで、観光面の PR 効果はあると感じる。
207	観光面の PR 効果はある。観光客にサンゴ礁を観察させる観光船があるなど、サンゴ礁域が観光スポットになっている場所もあり、集客効果を有している。
208	本市において、サンゴが地域の活性化に役立っている事例は承知していない。本市の面する中城湾においてもサンゴ礁が生息しており、ブルーツーリズム等の可能性も考えられることから、今後、サンゴを活用した地域活性化について検討していきたいと考えている。
211	観光資源になっており、これからも観光の柱のひとつとして期待できる。
212	みなさまに地元にもこんな環境があると誇りに思ってもらいたい。